

北海道羅臼高等学校 通信 No3 R3.5.19



遠隔システムを使った授業スタート

【遠隔授業とは】

北海道教育委員会は、2021年度（令和3年度）に「北海道高等学校遠隔授業配信センター（T-base）」を札幌市内の北海道有朋高等学校内に設置し、地域の小規模な高校などへ遠隔授業の配信を本格的に実施する。小規模化した高校では教員数が少なく、大学進学など多様な進路希望に対応した教科・科目の開設が困難な状況にあることから、地域連携特例校や離島にある道立高校のうち、配信を希望する学校に教科・科目を選択してもらい、遠隔授業を配信する。2021年度の対象は27校。指導力の高い専任教員が、複数の高校に授業を同時配信する。主に、上級学校への進学者を対象に開設される。

■ 受信校 27校（令和3年度）



お問い合わせ先

北海道教育庁学校教育局教育環境支援課遠隔授業準備室
電話：011-206-6487 E-mail: kyoiku.kyokan@pref.hokkaido.lg.jp

- ★北海道教育委員会のHP <http://www.t-base.hokkaido-c.ed.jp/>では、さらに詳しい情報を知ることができます。
- ★地方の小規模校でも「進学が可能」となるよう道教委が支援する制度です。
- ★本年度は「英語」ですが、進学希望者を厚く支援するため、来年度以降は遠隔を活用する教科を拡大することを検討しています。
- ★「夢は地元でつかみ取る」ことの実現に向けた連携事業です。

【本校の遠隔授業】

- 1 教科 英語表現（3年必修、2単位）
- 2 対象 上級学校への進学希望者等10名（クラスを2展開し、他の22名は小林教諭が実施）
- 3 担当者 主担当：古起 快（北海道有朋高等学校 t-base 教諭）
教科担任：小林俊樹（本校教諭）
サポート：岩崎勇司（本校教諭）
- 4 管理等 授業の内容・進行・成績は、本校の小林俊樹教諭が管理する。
シラバスは、このプリントの裏に掲載する。



↑ 遠隔システム（双方向通信機器）

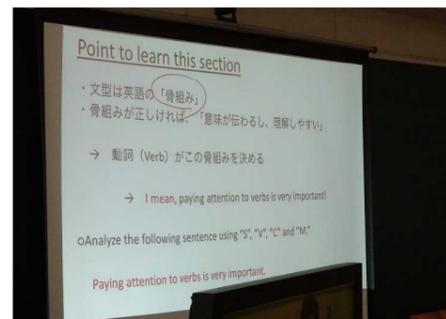


↑ 遠隔授業を受ける3年生10名（上級学校進学希望者）



↑ 先生の発問に答えている不動さん

← 必要な板書はプロジェクターで映示される。



進路実現に向けて
頑張れ3年生！

シラバスは裏面です

